

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	地方バス路線維持事業		基本目標	公共交通の充実			
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	大森 聡	評価者	森 弘道	開始年度 H8 年度
評価状況	理由	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください <input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	交通弱者						
	意図・目的	宮崎交通㈱が廃止した路線の代替バスを継続運行することにより、交通弱者の移動手段を確保する。						
事業の内容	①高鍋町から西都市までの3路線4系統の運行委託。 ②「中尾⇒西小前」の1路線を通学時間のみ運行。町補助金として、欠損額と回送料を支出している。 ③「西小入り口T字交差点～木城温泉館湯らら」について運行赤字分を本町と木城町で負担している。							
22年度決算額	16,869	千円	23年度予算額	補正予算計上予定	千円	事業従事者数	H22 0.05 人 H23 0.04 人	
主な支出項目	補助金	16,869	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費 360千円	
			千円	県支出金		千円	23年度人件費 285千円	
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23) #VALUE! %	
			千円	一般財源		千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		地方バス路線維持費補助金			
	補助交付団体		宮崎交通㈱		補助金要綱			
	22年度	補助額	16,869,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額	円 終期 年度
		団体の決算額	16,869,000	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
		補助の割合	100.0	%	現行どおり			
繰越額		0	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 乗車人員(1便当たり平均)	(運行継続可否の判断基準)
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 補助金	(廃止路線代替バス運行に係る欠損額を補助)
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	乗車人員(1便当たり平均)	目標値	2	2	2	
		実績値	2	2		
		達成率	94.9%	101.0%		
	0	目標値	%			
		実績値	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	補助金	目標値	15,821	16,300	16,300	
		実績値	15,821	16,869		
		達成率	100.0%	103.5%		
	0	目標値	回			
		実績値	回	#DIV/0!	#DIV/0!	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	地方バス路線維持事業	担当課(局)	政策推進課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 妥当性	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		14	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性) 公益性	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	2	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	0	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	運行廃止の方向に進みたいが、西都市、新富町の了承を得ることは難しいが、両市町とも23年度にコミュニティバスの導入を試行することから、結果によっては方向性が一致する可能性もあるので、状況確認に努めたい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小
			コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎3市町の協議が不可欠であり、政治的関与があるため、路線の廃止は難しいと思われる。バスの小型化等を依頼し、コストの削減に努めてもらいたい。また巡回バスと併せて、総合的な交通施策を検討すべきである。 ◎バスの小型化など改善されたところもあるが、町内巡回バスで交替できるまでは交通弱者対策として取り組まざるを得ない。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	